

静岡県精神保健福祉協会

News Letter -No.29-

巻頭言

静岡県精神保健福祉協会 会長

山末 英典（浜松医科大学精神医学講座教授 保健管理センター長）

精神保健福祉協会会長の就任に際して

精神保健福祉協会会長にご任命頂きました山末英典と申します。本協会が目的とする、県民のこころの健康づくり推進と精神障害に対する正しい知識と理解の普及啓発については、ニーズが増している時代にあります。

まず、県民のこころの健康づくり推進については、コロナ禍における生活環境の急激な変化やウクライナ侵攻などに伴う世界的な社会経済状況の変化などで、日常的なストレスが増してこころの健康を脅かしています。

また、精神障害に対する普及啓発についても、統合失調症やうつ病や双極性障害や認知症あるいはアルコール依存症などの従来からの代表的な精神障害に加えて、ゲーム障害やネット依存など新たな精神障害が出現したり、あるいは発達障害などが増加する中で、そのニーズが拡大しています。

本協会としても、これまでの活動を継続し発展させることに加えて、こうした変化する状況に対応することが求められると考えております。

自分自身は、勤務先の浜松医科大学では、精神医学講座の主任教授として、医学生や研修医に正しい最新の医学的知見を教育して、地域医療に貢献出来る医師を養成することを主な役割の一つとしています。そのため、精神障害に対する正しい知識と理解の普及啓発という本協会の目的は、医科大学における教育目的と共通する部分だと考えています。

また、浜松医科大学の保健管理センターのセンター長を兼任しており、学生や教職員のこころの健康づくりを推進する役割を担っています。

さらに、コロナ禍においては、静岡県内で新型コロナウイルスに感染した患者さんを受け入れる20弱の医療機関を対象にしてリモートでのメンタルヘルスマネジメントシステムを構築して、対応している医療スタッフのこころの健康管理を行なっていました。

そのため、県民のこころの健康づくり推進についても、この浜松医科大学保健管理センターの業務と目的を共有していると考えています。

これらの経験をもとに、微力ながら精神保健福祉協会の活動の発展と拡大に尽力して参りたいと考えております。どうぞご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



第61回 静岡県精神保健福祉協会 理事会・総会を 開催いたしました

理事会の様子



令和4年6月15日（水）静岡県男女共同参画センター（あざれあ）において、新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上、第61回静岡県精神保健福祉協会理事会・総会・記念講演会を開催いたしました。

協会役員、個人会員、各会員機関など100名余の方々に参加されました。

静岡県議会厚生委員会委員長 小長井 由雄様、静岡県健康福祉部部長 八木 敏裕様に来賓として御臨席を賜り、御挨拶をいただきました。

総会の審議に先立ち、会員団体から推薦された県知事功労別表彰、精神保健福祉協会会長表彰の授賞式が行われ、総会では令和3年度事業報告、理事選任についての議案を審議し可決されました。

また、2期4年間会長として重責を果たされた石田 多嘉子氏（復康会鷹岡病院名誉院長）が退任、臨時理事会にて新会長に山末 英典氏（国立大学法人浜松医科大学教授）が選任されました。

そして新会長のもと令和4年度事業計画、予算案などの議案が審議され、可決されました。



来賓祝辞
静岡県議会厚生委員会委員長
小長井 由雄 様



来賓祝辞
静岡県健康福祉部部長
八木 敏裕 様



総会の様子
(第1号～第3号議案)



総会の様子
(第4号～第5号議案)



記念講演会



酔うと化け物になる 父が辛い

～子どもへのサポートを考える～

漫画家 菊池 真理子 氏

総会終了後、漫画家である菊池真理子氏をお招きして記念講演会を開催いたしました。

菊池氏は、幼少期より父の飲酒問題に困っていましたが、漫画家として偶然取材した依存症外来がきっかけで父が依存症だったかもしれないと気づきました。

今回の講演では、菊池氏の代表作である『酔うと化け物になる父が辛い』の演題で、自分が子どもの時にどのようなサポートを受けたかったかも含めてお話しいただきました。

菊池氏の父は生真面目で小心者でお酒が入らないと本音と言えない人だったそうです。週末には近所の人自宅に集まり夜通しお酒を飲みながらの麻雀大会が開かれており、母が甲斐甲斐しく世話をし、子どもの居場所や家族の団欒などが無い環境でした。両親からのネグレクトを受け、自分を価値のない人間だと思ってしまう、自分を大切にできない、感情を閉じて本音と言えない、孤独感や罪悪感が強く見捨てられた不安が大きいといった自身の経験について、語られました。

そこで成長した今気づいた、自身が子どもの時に必要だったサポートについて①気にかけてくれる大人②正しい知識を持つ大人③親を助けてくれる大人④学校からの働きかけが挙げられました。また、将来に希望を感じられなかったため、楽しく生きている大人が周りに居てほしかったと話されました。

サポートが必要な子ども・元子どもに対し、話ができる場を作ることや、「あなたは悪くない」と伝えていくことが大切だと感じました。

質疑応答の時間には、参加者から多くの質問や感想が寄せられました。

菊池氏の代表作は、他に「毒親サバイバル」「生きやすい」などがあります。興味のある方は是非読んでいただければと思います。



令和4年度受賞者紹介

総会審議に先立ち、令和4年度の静岡県知事功労別表彰が静岡県健康福祉部の八木敏弘部長より、また静岡県精神保健福祉協会会長表彰が静岡県精神保健福祉協会の石田多嘉子会長より授与されました。

令和4年度知事功労別功労別表彰 (保健衛生功労) 受賞者

お名前	ご所属
石渡 勝 様	公益社団法人静岡県断酒会



令和4年度静岡県精神保健福祉協会会長表彰 受賞者一覧



永年勤続功労表彰

お名前	ご所属	お名前	ご所属
瀧波 行美 様	公益財団法人復康会 鷹岡病院	杉田百合子 様	医療法人好生会 三方原病院
栗林 翼 様	公益財団法人復康会 鷹岡病院	吉野 美穂 様	一般社団法人 富士心身リハビリテーション 研究所附属病院
長嶋みゆき 様	公益財団法人復康会 鷹岡病院	川口 則子 様	一般社団法人 富士心身リハビリテーション 研究所附属病院
遠藤 稔 様	公益財団法人復康会 鷹岡病院	岡本扶美子 様	精神保健福祉ボランティア あしたばの会
大竹口百合子 様	医療法人財団新六会 大富士病院	川瀬 允宣 様	医療法人社団リラ 溝口病院



《 受賞者の皆様 》



永年勤続功労表彰



特別功労表彰



特別功労表彰（個人）

お名前	ご所属（推薦元）
澤野 文彦 様	静岡県精神保健福祉士協会
長島 隼人 様	静岡県賀茂保健所
大村麻理子 様	公益社団法人 静岡県精神保健福祉会連合会
丸山 謙一 様	公益社団法人 静岡県精神保健福祉会連合会
鈴木 節夫 様	静岡県精神神経科診療所協会



こころの健康づくり講演会のご案内

精神保健福祉協会では、地域精神保健福祉思想の普及及び啓発を図り、県民の精神保健福祉の向上に資するため、適当と認めた団体に対しこころの健康づくり講演会開催の支援を行っています。

今年度開催された講演会と、9月以降開催予定の講演会を御紹介します。

新型コロナウイルス感染状況により予定が変更になる場合がありますので、主催団体にお問合せの上御参加ください。

すでに開催された こころの健康づくり講演会を御紹介

★「くすりは正しく使ってこそクスリ」

開催日：令和4年7月13日（水）

会場：湖西市民活動センター

講師：薬剤師 村松 章伊 氏

主催者：NPO法人さざなみ会

〈講演の感想等〉

新型コロナウイルスの感染拡大で延期になっていましたが、ようやく開催することができました。精神疾患患者にとって薬は必須です。薬の正しい使い方によって病気と上手につき合っていくことの重要性を改めて知ることができました。



9月以降 開催予定の講演会

☆講演会への参加希望者は、直接主催団体へお問い合わせください。

開催日	会場	テーマ・講師	主催団体
令和4年 9月18日（日） 9：00～10：40	菊川市役所東館 プラザきくる	「うつ病を知ろう」 静岡大学教育学部教授 精神科医 鈴江 毅 氏	菊川市健康づくり課 TEL 0537-37-1112
令和4年 10月29日（土） 13：00～15：30	佐倉地区センター さくらんぼホール	「障害があってもなくても地域で自分らしく生きるとは」 地域活動支援センター 御前崎相談支援事業所 所長 八木 光春 氏	社会福祉法人 Mネット東遠 TEL 0537-86-7576
令和4年 12月3日（土） 13：30～15：00	小笠中央公民館 多目的ホール	映画上映 「ふたり～あなたという光～」 きょうだい映画	菊川精神保健福祉ボランティア あしたばの会 TEL 0537-28-9716
令和5年 1月31日（火） 10：00～12：00	三島市立 保健センター	「呼吸法とマインドフルネス」 臨床心理士・公認心理士 鈴木 文月 氏	三島市保健委員会 TEL 055-973-3700
令和5年 2月22日（水） 13：30～15：30	掛川市 総合福祉センター あいりーな	「精神障害を抱えられた方々を支援する中で私が感じたこと」～私の経験から今思い、伝えたいこと～ Mネット東遠掛川地区統括 戸塚恵理子 氏	掛川小笠地区精神保健福祉会 ひまわり会 TEL 0537-29-8970

心の健康フェア 2022 シンポジウム

災害時、県民のメンタルヘルスは どう守られるのか

～令和3年熱海市伊豆山土石流災害のメンタルヘルスを振り返る～

精神科医のお話

「被災者が被るストレスに対するメンタルヘルスについて」

- ・静岡県精神保健福祉センター 内田 勝久 氏
(静岡県精神保健福祉協会副会長、精神科医)

シンポジスト

- ・災害派遣精神医療チーム (静岡DPAT)
岡庭 隆門 氏
(県立こころの医療センター在宅医療支援部在宅医療支援室長、作業療法士)
- ・公認心理師協会 平岡 篤武 氏
(静岡県公認心理師協会 会長)
- ・日本赤十字病院 高橋 涼子 氏
(静岡赤十字病院 看護師長)
- ・熱海市 (PHN) 佐藤 真由美 氏
(熱海市健康づくり課 保健師)
- ・静岡県 袴田 彬央 氏
(静岡県障害福祉課精神保健福祉班)

10月5日 (水)

13:00～15:00

開場 12:30

静岡市民文化会館

3階 大会議室

入場無料 (事前申込制)

聴講御希望の方は、9月30日(金)までに、メールかFAX、または電話にて静岡県精神保健福祉協会までお申込みください。

【お名前、電話番号、参加人数、メールアドレス記載】
※新型コロナウイルス感染状況によっては、オンライン開催、または中止とする場合があります。

これまで、多くの皆様方の御支援、御協力をいただいて開催し、作品集を発行してきた【ハートフルアート展】ですが、新型コロナウイルス感染の終息が見通せない中、展示作業、作品展来場は困難であり、作品集発行も回を重ねたため、今年度はハートフルアート展の開催、発行を取りやめます。

その上で全国精神保健福祉普及運動期間に合わせて、10月5日(水)にシンポジウムを開催することになりました。御理解よろしくお願いいたします。

静岡県精神保健福祉協会

〒422-8031

静岡市駿河区有明町2-20 県総合庁舎別館4階

TEL & FAX 054-202-1220

E-mail: sizuoka_seisin@yahoo.co.jp

ホームページは
こちらから▶



【当協会の活動に御賛同いただいている 会員企業様】

(敬称略・順不同)

・静岡銀行 ・浜松いわた信用金庫 ・(有)サカエ印刷 ・(株)日本軽金属蒲原製造所